

つたざわ



学校教育目標

わくわく学び
いきいき挑戦する
児童の育成

真の自立へ向けて

～感謝の気持ちを大切に～

学校長 三木 寿和

暖かて柔らかい風が吹く季節となりました。今年の冬はあまり雪も降らず、比較的過ごしやすい毎日でしたが、春の訪れにはやはり大きな喜びを感じます。毎朝、子どもたちを学校へ迎えるために通学路に出ています。いつも見ている地面をよく見ると、茶色い草のすき間から緑色の草がちらほら顔を出しています。小鳥たちのさえずりとともに、朝日が昇る時刻もだんだんと早くなり、野山を見渡せば木々が芽吹く準備をしています。そして蔦沢小学校の子どもたちもまた、現在の学年での学びの最終段階に入り、新しいステージへ踏み出す準備を整えています。友だちや先生方とともに、この一年間に学んだことの総まとめに一生懸命に取り組んでいるところです。

県では、「兵庫が育む ころろ豊かで自立する人づくり」を基本理念として、教育基本計画を推進しています。さて、「自立する」とはどういうことなのでしょう。本校においても授業や生活の中で、自分の考えをしっかりと持つことや、一人でできることを少しずつ増やしていくなど、学校生活において各学年の発達段階に応じて、自立に向けての準備をしています。辞書には「自立とは他からの支配や助力を受けずに、存在すること」とあります。自立している人は本当に誰のお世話にもなっていないのでしょうか。

私たちの日々の生活を注意深く振り返ってみますと、様々な場面で周囲の人びとのお世話になっていること、つまり辞書にある意味での「自立している人」は誰一人としていないことに気づきます。例えば、「着るもの」について考えてみます。自分でお金を払って買ったのだから、人のお世話にはなっていないと感じる人がいるかもしれませんが。しかし、いくらお金を払っていても、それを作る人や売ってくれる人がいなければ着るものは手に入りません。次に「食べるもの」について考えてみます。これも多くの人の関わりを経て、ようやく私たちの手に届きます。コンビニなどで購入するお弁当について考えてみても、材料の準備、調理、運搬など直接には見えないところで、実に多くの人ののお世話になっていきます。このように考えると、すべてのことにおいて私たちは、地域社会の中や学校の中で、いかに多くの人々のお世話になって生きているかに気づくことができます。

また、生活のために使うお金も、子どもたちにとっては自分で稼いだものではなく、お家の人たちが一生懸命に働いたことで、ようやく手には入ったものです。つまり、私たちが社会の中で真に「自立する」には、次の三つの点が大切なのではないかと考えます。

- ① 自分が常に周囲の人々のお世話になって生きていることを自覚すること。
- ② その自覚をもとに周囲の人々への感謝の気持ちを持つこと。
- ③ 周囲の人々の役に立つ生き方を考え、自分の果たすべき役割を自覚し、その役割

を果たすこと。

四月から学年が一つずつ上がり、新しいステージにステップアップしていく蔦沢小学校の子どもたち。生活の中で、今までより少し大きな困難があるかもしれません。特に六年生は中学生となり、部活が始まったり、授業時間が長くなったりするなど生活環境が大きく変わります。新しい友だちや先生との出会いに緊張するかもしれません。子どもたちには、周囲の人々にどのようなお世話になっているのか自ら気づき、お世話になっている人々の役に立つ行動を自ら起こすことができるようになってほしいと思います。真の自立に向けて、一歩一歩階段を上がり、周りの人たちの助けを借りながら、より大きく成長する子どもたちの姿を楽しみにしています。

最後になりましたが、地域の皆様、そして保護者の皆様には、この一年間、蔦沢小学校の子どもたちの健やかな成長と本校の教育活動に、ご理解と温かいご支援をいただきありがとうございました。昨年五月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが変わったからは、ほぼコロナ禍以前の教育活動を取り戻すことができました。統合二年目ではありましたが、そういう意味で考えますと、本当の意味での蔦沢小学校のスタートの年だったのかもしれない。今後とも皆様の変わらぬ本校へのご支援をよろしくお願いいたします。

☆蔦沢小学校見守り隊の皆様へ

蔦沢小学校見守り隊の皆様、本年度も登下校の見守り活動でたいへんお世話になりました。児童たちが大きな事故もなく元気に登校できたこと、心より感謝申し上げます。

本校の教育活動にとって、登下校時の安全は非常に大切なものと考えております。来年度も引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

また、校区で蔦沢小学校見守り隊として、見守り活動にご協力いただける方の募集をしております。蔦沢小学校教頭（村上）までご連絡をお願いします。

3月の行事予定

- 19日（火）卒業式予行
給食最終日
自治会別児童会
- 20日（水）春分の日
- 22日（金）卒業証書授与式
- 25日（月）修了式
- 26日（火）春季休業開始



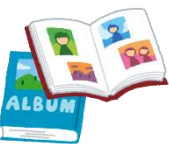
4月の行事予定

- 5日（金）離任式
- 8日（月）着任式・始業式・入学式
- 10日（水）身体測定
- 11日（木）視力聴力検査
- 12日（金）給食開始
- 15日（月）校内安全点検・集金日
- 18日（木）全国学力学習状況調査
- 23日（火）交通安全教室
- 24日（水）授業参観日・PTA 総会・学級懇談会
自然学校説明会
- 26日（金）防災避難訓練
- 29日（月）昭和の日
- 30日（火）家庭訪問開始



六年生

思い出を短歌に



いよいよ「卒業」を目の前にしている六年生です。学習のまとめをしたり、卒業文集を制作したりしながら過ごしています。その中の一つとして、「六年生」という言葉を入れて、この一年間の思い出を短歌にしました。楽しかったことを短歌にした人もあれば、苦しかったことを短歌にした人もいます。この校報を見返した時に、当時の様々な記憶がよみがえると嬉しいです。

六年生 いろんな思い出 なつかしい

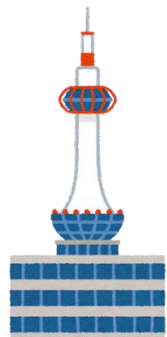
とても楽しい 六年間だ

たくさんの 思い出できた この一年

笑顔がたくさん 六年生

六年生 思い出いっぱい 京都に奈良

大仏大きい 修学旅行



六年生 修学旅行の 行きのバス

土色の顔 バスの思い出



じごくだよ 休みはあらず 宿題で

六年生は 悲鳴をあげてる

いつもより はりきるぼくらの 運動会

六年生は 今日も明るい



卒業だ みんなありがと！ また会おう！

次は二十歳だ 六年生

六年生 修学旅行 京都奈良へ

京都タワー とてもきれいだな

六年生 桜が落ちる 春休み

卒業 終わり 中学校へ



六年生 修学旅行 楽しかった

雨は降るけど 思い出しかない

六年生 みなでよく笑い よく泣いた

今はなつかしき 思い出だよ

思い出の 自由行動 京都奈良

おみやげたくさん 六年生



これからも 歩み続ける 六年生

固い絆 これからも

旗作り 六年生の 大仕事

くだらない話 ばかりしていた



若宮で 六年生で 楽しんだ

思い出たくさん 修学旅行

京都タワー 六年生と 写真とり

夜の宿では おかしパーティーだ

六年生 笑顔あふれて のりゆすぎ

先生さげぶ 教室楽し



楽しかった 修学旅行 最初で最後

卒業近づく 六年生

六年生 笑う門には 福来たる

文句の門には 宿題来たる



校報「つたざわ」では、「蔦沢小学校」二年目の子どもたちの様子を発信して参りました。この一年間の皆様の「ご支援に心より感謝しております。三年目も蔦沢小学校の教育活動推進に努めて参りますので、今後ともご支援・ご理解のほどよろしくお願い致します。